

令和3年度第1回手話施策推進会議（書面）委員意見に対する対応

1 令和2年度 of 取組結果に対する意見への対応等（案）

	質問・意見	対応等
ア 手話出前講座	大学生にコミュニケーションツールとしての手話を経験する場として、もっと活用してほしい。	令和4年度から大学、専門学校等に対し、チラシの配布等による周知を行う。
	PRに関してフェイスブックやインスタグラムを活用してはどうか。	効率的な周知方法について検討する。
イ こども手話講座	アンケートの結果、夏休み等ではない、土日祝日の開催希望が多いため、実現して欲しい。	緊急事態宣言等により夏休みは令和3年度こども手話講座の開催が出来ていない。令和4年1月以降で日程を調整し、土・日を含め開催を検討する。
	こども手話講座で手話を学び、聴覚障がい者の映画で障害特性と周囲からのアプローチの方法を学んで欲しい。	こども手話講座受講生などに対し、全日本ろうあ連盟創立70周年記念映画「咲む」をはじめ、聴覚障がい者に関する映画の活用について関係者と協議し、検討を進める。
ウ 手話講習会	意見なし	
エ 意見交換会	聴覚障がい者、盲ろう者など障がい特性にあった会場設営が必要なため、設営は市だけではなく、委員と一緒に行ってほしい。	障害特性にあった会場設営は必要だと考える。会場設営に当たっては、委員等の意見を反映させたい。
	アンケート結果の中に大切なことが凝縮されており、開催の意味が大きかったことがわかる。 参加者にアンケート結果を伝える予定はあるか。	委員からの意見を踏まえ、公表する。

エ 意見交換会	<p>テーマ設定は適切であった。旭川市において聴覚に障害がある方を含めた高齢障がい者の福祉的支援について現状及びどのような課題があるのか知りたい。</p>	<p>高齢障がい者は、法定サービスについては、介護サービスを優先することとされているが、介護サービスにない就労支援等については障害福祉サービスを利用することとなる。</p> <p>現状・課題としては、サービス利用者が65歳に達し、サービスが障害分野から高齢分野に移行する際に、制度が類似しているものの、一部を除き同一ではないため、混乱が生じることが挙げられる。この解消については、障害・高齢の両サービス関係者が互いの制度に係る理解を深め、円滑な引継ぎを行うことが有効であると考えられるため、旭川市自立支援協議会において、両サービス関係者の連携等を深める取組を実施している。</p>
	<p>災害時、緊急時に聴覚障がい者から民生委員等支援が可能な人か分かるように、バッチやTシャツ（手話ができますといったマーク等）があるといい。他に障がい者一般が対応可能なマークなどがあると障がい者自身から声をかけてもらえると考える。</p>	<p>緊急時に支援が可能な方を確認できる目印があると良いが、現時点でそれを表すものがないため、関係部局と協議を進める。</p>

○ 令和3年度取組に対する意見への対応等（案）

	質問・意見	対応等
1 市民への手話普及の推進	特になし	

2 意見を踏まえた施策の推進 手話施策推進会議委員からの	<p>(こども手話講座から親子手話講座への名称変更について)</p> <p>名称の変更はせず、そのままの方がいいと考える。家庭の事情等があり、親子でなければ参加できないと思われる可能性がある。</p>	<p>令和3年度は緊急事態宣言等により、現時点では実施できていない。こども手話講座のアンケート結果を踏まえ、検討したいと考えているが、令和3年度第2回手話施策推進会議において、委員の意見を聴取したい。</p>
	<p>(手話出前講座の使用回数制限の緩和について)</p> <p>回数緩和は必要ないと思う。</p> <p>興味を持った人については、講習会やサークル等を案内した方がいいのでは。</p>	<p>令和3年度第2回手話施策推進会議において、委員の意見を聴取したい。</p>
3 意見交換会	<p>全日本ろうあ連盟創立70周年記念映画「咲む」上映会を「旭川市手話言語に関する基本条例」制定5周年と合わせて実施するのが良いと思う。本映画の監督である早瀬憲太郎氏は、条例制定時の記念講演を行っていることから、今回も講演してもらうことで、共生社会の大切さを知ってもらえる。</p>	<p>映画「咲む」上映会の共催という形で、「旭川市手話言語に関する基本条例制定5周年事業」を実施した。</p> <p>上映会に合わせてアンケートを実施している。</p>
	<p>「旭川市手話言語に関する基本条例」制定5周年を迎え、節目の年であるため、記念事業として実施することが望ましい。</p>	

	質問・意見	対応等
3 意見交換会	緊急時（災害等）の行動に関する具体策の提案。令和2年度の意見交換会に関連した内容にすることで、理解を深めていく（災害発生を知る手段、避難までの対応、避難所での情報保障 など）。	令和3年度第2回手話施策推進会議において、令和4年度以降の意見交換会の内容案として、別途協議したい。
	緊急時における支援として、新型コロナウイルス等の感染症や医療機関への受診全般に係る課題について意見が交換できるといい。	
	手話通訳者になったきっかけ、今後の思いなどを聞きたい。	
	手話に興味を持つ人（手話講習会や参加した人等）に疑問に思うことや、知りたいことを聴取して、内容を検討してみてもどうか。	